

令和4年度・土浦市立図書館連携事業報告

①高校生によるおはなし会「高校生といっしょ」 1/9・14



土浦市立図書館では毎年、高校生によるこどもたちへの読み聞かせのイベントが開かれます。今年も、本校から6名のボランティアが自主的に参加しました。

12月中旬から、延べ4日の事業です。まずは読み聞かせについての講義で学び、メンバーで話し合っ全体テーマを「食べる」に決めました。

それぞれがテーマに沿った絵本を持ち寄り、流れを決め、何度も練習して、当日を迎えました。図書館内の親子連れにお声かけした結果、大勢の親子が集まってくれました。

おはなしの部屋で待っていた生徒たちも緊張した様子です。全員でそろって挨拶をして、いよいよ読み聞かせのスタートです。



順番に、練習したとおり、ゆっくり大きな声で読んでいきます。会場の親子もみな、集中してお話の世界に浸ってくれます。読んでいる高校生と会場の親子の心が、絵本を介してつながります。素晴らしい体験です。高校生の緊張も少しずつとれていくようでした。



市立図書館の大型絵本を使う生徒もいます。絵本の色もきれいです。やはり、絵が大きいと迫力がありますし、大勢の前での読み聞かせではとても有効な手段です。男子生徒でも、めくるのも大変なようでしたが、一生懸命さが感動を呼びます。



二人組になり、一人が座って、手元の絵本で読み聞かせ、一人が立って、大型絵本をめくっていく、この方法が一番スマートな方法に思えました。読んでいるのは、世界中で愛されている、エリック・カールの『はらぺこあおむし』です。

最後には全員そろってまたご挨拶。大きな拍手を送っていただきました。

常総学院高等学校の生徒さんと合同チームで取り組んだ生徒もいました。学校だけでなく学年も異なる生徒同士で一つのイベントを作り上げる体験は困難も多かったと思います。先輩として、よくリードして取り組んでいました。

参加した生徒たちには、市立図書館より、ボランティア証明書も発行していただきました。

こどもだけでなく、大人の方にもたいへん感謝され、喜んでいただきました。

参加したみなさん、本当によく頑張りました。おつかれさまでした。(文責：橋内敏江)



②土浦市立図書館のこどものコーナー壁面装飾



まずは校内の図書館で、1・2年の図書委員全員が縦割りで協力して、部品を作成しました。桃太郎、猿、犬、キジ、旗、鬼ヶ島、など…、久しぶりに画用紙をハサミでちよきちよき、のりで貼って作ります。これは、下の写真のまとめ役の2年役員の発案です。自分たちだけで作ると時間もかかってしまって困るし、皆で作れば図書委員同士の仲も深まる上に、皆でボランティアしたことになり、いいことづくめだと。

本当に、ナイスアイデアでした！！ブラボー！！



そして、3月2日の夕方、土浦市立図書館に、2年の役員4人が集合して、無事に全体をまとめて壁面に飾りました。バランスが悪いところをみつけては、もう一度はがして切り直したりして、完成させました。

春らしい桃太郎ご一行様の行進の飾りが、こどもたちのコーナーに飾られています。よろしかったら、ぜひ土浦市立図書館に足を運んでいただき、ご覧になってください。

また、他にも講演会のサポート活動など、生徒たちの活躍の場を広げ、出会いを作る貴重な機会をいただいております。心より感謝申し上げます。 (文責：橘内敏江)